

2023 年度（令和 5 年度）共同研究公募要領

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターでは、社会調査データの保存・公開を行うデータアーカイブ事業を中心として、社会調査の実施、二次分析研究の普及・促進、国内外のデータアーカイブとの連携などを行っています。

当センターでは、共同利用・共同研究促進のための事業として、二次分析にかかわる共同研究の募集を行います。2023 年度は「参加者公募型」および「課題公募型」で募集しますので、ご応募ください。

なお、研究会は原則ウェブ会議システムを使用する予定です。

1. 公募事項

(1) 参加者公募型

「参加者公募型」研究は、あらかじめ設定されたテーマやデータに関して参加者を募り、当センター内の研究者と共同で行う研究です。募集は年 1 回です。翌年の 2 月または 3 月に成果報告会を開催し、年度内にディスカッションペーパーを発行します。2023 年度は、以下のテーマを設定します。

テーマ：「在留外国人総合調査」（時系列調査）を用いた在留外国人の生活に関する二次分析

この研究会では、株式会社サーベイリサーチセンターが自主事業として実施している「在留外国人総合調査」の過去 3 回（1 回目 2020 年 4 月/2 回目 2022 年 4 月/3 回目 2023 年 4 月）の 3 回の時系列調査データを使用します。本調査は、在留外国人の人権から就業・住宅・地域コミュニケーション・日本語学習・保健・福祉・子育て・就学・収入・災害・余暇・運転・生活課題までの約 70 問の設問項目で構成しており、各回概ね 1000 人の回答を得ています。また、各回のサンプルについては、民間のモニター会社が所有する「WEB モニター」を利用し、調査時点の「在留外国人国籍の割合」を考慮して対象を設定（地域性は考慮していません）しています。

扱うデータは、1 回目から 3 回目までの調査のデータです。1 回目（2020 年調査、サンプルサイズ 1000）データはすでに SSJDA で公開中です（調査番号：1399、「在留外国人に関する調査，2020」<https://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/Direct/gaiyo.php?lang=jpn&eid=1399>）。2 回目（2022 年調査、サンプルサイズ 999）のデータは 2023 年 2 月中に SSJDA に寄託済み（公開準備中）。3 回目（2023 年調査）のデータは 2023 年 4 月に全国の調査を実施後、5 月末までに SSJDA に寄託予定です。研究会への参加メンバーは 2 回目と 3 回目のデータを SSJDA で公開される前に利用できます。

本調査の特徴は、前述したように人権から就業・収入・住宅・地域コミュニケーション・日本語・保健・福祉・子育て・就学・災害・余暇・運転・生活課題まで、在留外国人の国内での生活を総合的に把握するために全領域を網羅的に実施しています。但し、民間調査機関が実施した調査結果であるため、母集団の設定では住民基本台帳等のデータを使用することが出来ないため、あくまで利用できる WEB モニターで調査している点は考慮いただきたい点です。

調査の規模、設問の網羅性など、在留外国人の生活における課題にかかわる要因を分析するうえで国内には類のないデータだと思っております。今後、生活を共にする在留外国人をよりより知るために、また、幅広く知るために本調査を実施し、調査データから社会課題を解消していく一助になればと実施していますが、調査主体だけではこの網羅的なデータを専門的に分析及び課題の抽出を行うことが困難です。幅広い研究分野から、多くの研究者方にご参加いただくことを望みます。

※株式会社サーベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/>

(2) 課題公募型

「課題公募型」研究は、申請者が研究テーマ・利用データ・共同研究者を設定して応募し、当センターが提供する社会調査データを用いて行う研究です。募集は年 1 回です。2 月または 3 月に成果報告会を開催します。(当センターの提供する社会調査データについては当センターのホームページに掲載されています)。

各研究課題については、本センター運営委員会で審議・選考のうえ採択が決定されます。各研究代表者に関しては、センター内の共同研究室の利用についても便宜をはかります。

2. 応募資格

大学および公的研究機関ならびに当センターへのデータ寄託機関の研究者、またこれらに準ずる研究者、大学院生、ならびに本センター長が適当と認めた者とします。

※ 参加者公募型研究については、分析方法の学習会・勉強会・講習ではありませんので、ご自身で SAS、SPSS、Stata、R などの統計ソフトの利用環境を準備でき、かつその利用方法を独習できる方の参加に限らせて頂きます。

3. 応募方法

(1) 参加者公募型研究の申請は当センターのホームページをご覧のうえ、所定の申請書様式 1 (ホームページからダウンロードできます) に必要事項をご記入のうえ下記電子メール宛にお送りください。

(2) 課題公募型研究の申請にあたっては、当センターから公開されている社会調査データを十分参考にしてください。所定の申請書様式 2 (ホームページからダウンロードできます) に必要事項をご記入のうえ下記電子メール宛にお送りください。ご不明な点がございましたら、電子メールでお問い合わせください。

(3) メール の 件名には (1) または (2) のいずれの応募であることを明記してください。

[宛先・問い合わせ先]

s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp 二次分析研究会事務局

4. 研究期間

採択された研究の有効期限は、採択日から 2024 年 3 月 31 日までの 2023 年度内です。

5. 応募締切

(1) 参加者公募型研究、(2) 課題公募型研究のいずれについても 2023 年 4 月 27 日 (木) を締切とします。

6. 選考と採否の通知

本センター運営委員会で審議・選考のうえ、最終決定します。選考結果は 2023 年 5 月 12 日 (金) までにご連絡します。

7. 共同研究の成果報告等

共同研究を行った研究者は 2 月または 3 月に開催される成果報告会での報告を行ってください。

(1) 参加者公募型研究を行う研究者は、成果報告会後にその成果をディスカッションペーパーとして提出することが必要です。ディスカッションペーパーの発行 (年度内) 以前に学術雑誌等で発表することはお控えください。

(2) 課題公募型研究を行う研究者が成果を学術雑誌等において発表される場合には、本センターとの共同利用研究に基づくものであることを付記していただくとともに、データ利用報告書と該当論文・報告等を提出していただきます。

以上